(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 6 日

佐賀県知事 山口祥義 殿

提出者

住 所 佐賀県武雄市橘町大字大日8562番地1

氏 名 株式会社 山﨑建設

代表取締役 山﨑 剛史

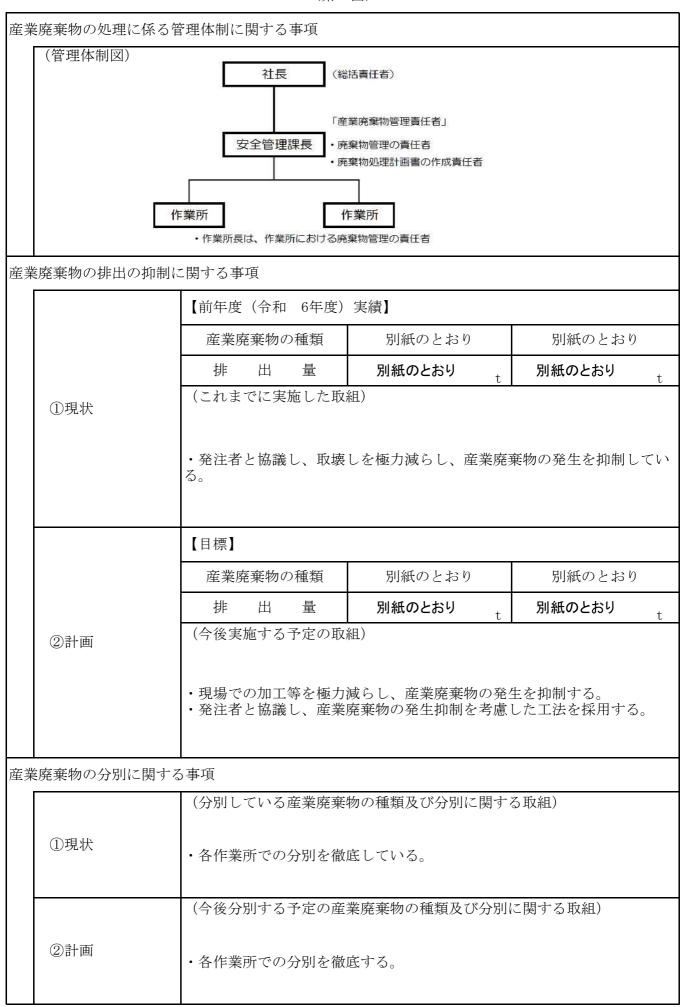
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0954-23-3629

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	の	名	称	株式会社 山﨑建設
事	業	場 0)所	在	地	佐賀県武雄市橘町大字大日8562番地1
計	Ī	画	期		間	令和7年 4月 1日 ~ 令和8年 3月 31日
当該	亥事業	場に	おい	て現	に行	「っている事業に関する事項
	1)	事業	美 の	種	類	06 総合工事業
	2	事業	美 の	規	模	1,300,00万
	3	従	業	員	数	48名
			棄物理 ①			

(日本工業規格 A列4番)



	【前年度(令和 6年度)	実績】				
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり				
O.TH.U.	自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり			
①現状	(これまでに実施した取組	1)				
	・特になし					
	【目標】					
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり			
@#J T	自ら再生利用を行う 産 業 廃 乗 物 の 量	別紙のとおり t	別紙のとおり			
②計画	(今後実施する予定の取組	1)				
	・特になし					
行う産業廃棄物	の中間処理に関する事項					
	【前年度(令和 6年度)	実績】				
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり			
	自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり			
①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり			
	(これまでに実施した取約	1)				
	・特になし					
	1910-18					
	【目標】					
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり			
		別紙のとおり t	別紙のとおり			
	自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量		別組のより口			
②計画		別紙のとおり t	別紙のとおり			
②計画	産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する	別紙のとおり t	別紙のとおり			

自ら	行う産業廃棄物の埋立	エ処分又は海洋投入処分に	関する事項										
		【前年度(令和 6年度)	実績】										
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり										
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり t									
		(これまでに実施した取組) ・特になし											
		【目標】											
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり									
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙のとおり t	別紙のとおり t									
		(今後実施する予定の取組) ・特になし											
産業	廃棄物の処理の委託に	と関する事項 【前年度(令和 6年度)	実績】										
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり									
		全処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t									
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t									
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t									
	①現状	認定熱回収業者への 処理 委託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t									
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t									
		(これまでに実施した取組 ・各現場での分別を徹底) ・発注者と協議し、取壊 る。	している。	乗物の発生を抑制してい									

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり		
	全処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t		
②計画	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t		
	・現場での加工等を極力		生を抑制する。		
※事務処理欄					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄物	めの排出の抑制に関する事	項															
	【前年度(令和 6年度)実績】																
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	建設混合廃棄物 (廃プ ラ、金属、がれき類)											
	排出量	32.725 t	24.990 t	457.600 t	3873.210 t	141.622 t	t	t	t	t	: t	t	t	t	t	t	t
	【目標】																
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	建設混合廃棄物 (廃プラ、金属、がれき類)											
	排 出 量	10.000 t	20.000 t	500.000 t	3000.000 t	100.000 t	t	t	t	t	. t	t	t	t	t	t	t

(第3面)

自ら行う層	産業廃棄物の再生利用に関	する事項														
①現状	【前年度(令和 6年度)実績】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	建設混合廃棄物 (廃プラ、金属、がれき類)										
	自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
	【目標】															
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	建設混合廃棄物 (廃プラ、金属、がれき類)										
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
自ら行う層	産業廃棄物の中間処理に関	する事項														
	【前年度(令和 6年度)	【前年度(令和 6年度)実績】														
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	建設混合廃棄物 (廃プラ、金属、がれき類)										
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
	【目標】		,		T	1	T	T		T	•	1		T		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	建設混合廃棄物 (廃プラ、金属、がれき類)										
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

(第4・5	0 囬/																
 自ら行う盾	産業廃棄物の埋立処分又は	海洋投入処分	分に関する事	項													
	【前年度(令和 6年度)	実績】															
(TEJI)	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	建設混合廃棄物 (廃プラ、金属、がれき類)											
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000	t 0.000 t	t	t	t	1	t t	t	t	. t	: t		t t
	【目標】														•		
0.71	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	建設混合廃棄物 (廃プ ラ、金属、がれき類)											
②計画:	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 1	t 0.000 t	t	t	t	1	t t	t	t	: t	: t		t t
産業廃棄物	めの処理の委託に関する事	項															
	【前年度(令和 6年度)	実績】															
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	建設混合廃棄物 (廃プラ、金属、がれき類)											
•	全処理委託量	32.725 t	24.990 t	457.600 t	3873.210 1	t 141.622 t	t	t	t	1	t t	t	t	: t	. t		t t
	優良認定処理業者への 処理 委託 量	25.927 t	18.095 t	33.110 t	205.424	t 12.012 t	t	t	t	1	t t	t	t	: t	: t		t t
①現状	再生利用業者への 処 理 委 託 量	32.725 t	24.990 t	457.600 t	3873.210 1	t 0.000 t	t	t	t	1	t t	t	t	: t	: t		t t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 1	t 0.000 t	t	t	t	1	t t	t	t	: t	: t		t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000	t 0.000 t	t	t	t	1	t t	t	t	; t	: t		t t
	【目標】					1				•	1		1	1	•	•	•
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	がれき類	建設混合廃棄物 (廃プラ、金属、がれき類)											
	全処理委託量	10.000 t	20.000 t	500.000 t	3000.000	t 100.000 t	t	t	t	1	t t	t	t	: t	: t	<u>.</u>	t t
	優良認定処理業者への 処理 委託 量	5.000 t	10.000 t	200.000 t	500.000 1	t 30.000 t	t	t	t	1	t	t	t	. t	: t		t t
②計画	再生利用業者への 処 理 委 託 量	10.000 t	20.000 t	500.000 t	3000.000 1	t 0.000 t	t	t	t	1	t t	t	t	: t	: t	į.	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000	t 0.000 t	t	t	t	1	t t	t	t	: t	: t		t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000	t 0.000 t	t	t	t	1	t t	t	t	: t	: t		t t